



笑顔！元気！ 支え合いが地域の活力へ



今回、初参加となる口加高校グローバルコースの林田摩耶さんは、「楽しそうから始まる原城巡り」をテーマとした提案発表を行いました。

参加者からは「地域の良さを知ることや、地域の人々のつながりを大切にすることはとても重要だ」という「素晴らしい研究発表と活動紹介、感動しました。ヒントをいただきました。」などの意見が出され、これからの地域のあり方について世代を超えて考える機会となりました。

「地域の力を考えよう」

少子高齢化や人口減少が進む中、市民が住み続けたいと思うまちづくりを実現するためには、市民一人ひとりが自分たちのまちを見つめ直し、それぞれが地域を活性化していくことが求められます。そのような中、市では時代に即した地域リーダーの育成、課題解決の仕組みづくりを目的に、昨年12月に「第2回地域の力を考える集い」を市内4会場で開催し、各団体による発表や活発な意見交換が行われました。



会場の様子



団体発表を行う様子



意見交換会



口加高校生の発表の様子

【発表団体・発表者】

- 津波見名振興協議会(加津佐)・・・山下 信二氏
- ミセス・ファーマーズ(北有馬)・・・中岡 一代氏
- 吉川名伝統芸能保存会(南有馬)・・・田中 司郎氏
- 久木山自治会(口之津)・・・山本 栄治氏
- 自主グループいきいき新田(布津)・・・山下 光顯氏
- 西池田自治会(有家)・・・中山 厚生氏、松岡 久光氏
- 西有家青空子ども会(西有家)・・・近藤 征治郎氏
- まちづくりボランティア「くすのき会」(深江)・・・金田 慶治氏、高柳 忠昭氏
- 県立口加高等学校・・・グローバルコースの皆さん



防火・防災の決意新たに ～消防出初式～

1月5日、ありえコレジヨホールで消防出初式を開催しました。式典では、長年にわたり消防団活動に尽力した団員や、県ポンプ操法大会で3位に入賞した南有馬地区団の出場団員が表彰を受けました。

大山秀孝団長は「団員諸君においては、これまで以上に消防技術の錬磨に精励し、崇高な消防精神に支えられた強い信頼と団結を築いてほしい」と話しました。

式典後の分列行進を終えると、有家漁港で火災のない1年を願い、一斉放水を行いました。

Focus in 南島原 まちの話題



本市出身の 岡部まりさんが講演

1月13日、ありえコレジヨホールで開催された「第13回南島原市PTA連合会研究大会」において、加津佐町出身のタレントでエッセイストの岡部まりさんが「心にいつもふるさとを」と題して記念講演を行いました。

探偵ナイトスクープ時代の裏話や自身の生い立ちと小さい頃からの経験を通して、「これからの時代はコミュニケーション能力が大事。これは、鍛錬と失敗してもコツコツ繰り返すこと以外に方法はない。それを引き出してくれる大人が必要」と話し、参加した市PTA会員約400人は、岡部さんの笑いあり涙ありの話に聞き入っていました。

「わたしのプチ話題」募集

あなたの知っている、ちょっとした話題を記事にして広報紙に掲載してみませんか？

100字から200字程度の文章と写真をメールまたは郵送にてお送りください。

話題の一例



最近、健康のために毎朝散歩をしている。ある日、いつもの散歩コースを変えて歩いていたら、1月にもかかわらず、加津佐地区で畑一面に向日葵が咲いている場所を発見した。夏の時期にしか咲かないと思っていた向日葵が、冬でも元気に咲いているのを見ると、今日も1日頑張ろうという気持ちになった。私も向日葵を植えてみようかな。
(投稿者：ベイガ船長さん)

【注意事項】

- 「広報紙係」と明記のうえ、お名前、連絡先電話番号を添えて応募してください。
- プチ話題として掲載にふさわしいと判断した記事のみを採用します。
- 趣旨を損なわない程度に、表現を変更する場合があります。

〒859-2211 西有家町里坊96番地2
南島原市役所 広報紙係 ☎73-6622
Eメール：his yokouhou@city.minamishimabara.lg.jp

第1回 地域の力を考える集いで発表した「あじさい会」をご紹介します



県の公民館大会で発表を行う
綾部副会長

平成26年4月に発足した自主活動グループ「あじさい会」は、加津佐町本若戸自治会の公民館を拠点に、講座の開催や料理講習会などさまざまな活動を行い、地域交流を図っています。

この活動内容を第1回地域の力を考える集い(平成29年開催)で発表したところ、公民館を活用した地域交流が高く評価され、昨年10月の長崎県公民館大会で同会の綾部イツエ副会長が南島原市代表として発表を行いました。

綾部副会長は「地域の活性化、心身の健康維持を目標に活動を実施してきた。今後も活動を通して仲間同士の絆を深め、公民館が気軽に集える場所であることを伝えていきたい」との思いを述べました。

